

茅ヶ崎セントラルクリニック 細川 康子

- 功 績 透析患者のADLの維持とQOLの向上に貢献した功績
- 推 薦 者 花岡 美奈子
- 推 薦 理 由 予防を強化する事で救肢につながり、患者さんのADL維持とQOLの向上につながったと考え、理事長賞に推薦します。

内 容

糖尿病を発症し、血糖値のコントロールが上手く出来ずに、免疫低下している状態であると水虫、胼胝や鶏眼といった些細な皮膚病変が引き金となり、壊疽が進行し足指や下肢の切断につながる事を理解し、意識している患者さんが少なかったのが現状でした。最悪、下肢を切断する事で患者さんの生活の質が著しく低下する状況で、事前に予防に努める事が必要との考えから、細川氏が中心となり、足の管理がどれほど重要かを説くため、足からみた糖尿病治療であるフットケアに取り組み始めました。

まずは、本人が率先して糖尿病足病変の指導に従事するための研修を受講しました。フットケアの基礎知識と足病変の評価方法、セルフケアを支援するうえでの注意点やポイントを学び、職員にレクチャーすることで、クリニック内での手技と意識の統一を図りました。

患者さんには「自分の足を観る事に慣れる」を念頭に置き、爪の手入れ、靴のサイズのアドバイス、靴下を履く事、足の洗い方、ひび割れを防ぐ保湿の仕方等指導を行いました。血糖値が改善しない場合は、栄養士の栄養指導時にも同席し、重症化しないために何度も説明をおこなっておりました。徐々にではありますが、患者さんも意識するようになり、足がきれいになっていく様子が目で判るぐらい改善しました。

鶏眼胼胝処置件数推移表

年度	平成26												平成27年			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
件数	60	50	24	16	23	19	20	15	14	5	3	3	3	3	3	0

歩行機能を守る事で活動性の低下を防ぎ、また高齢化している患者さんの転倒予防にもつながったと考えます。